

～絆～ 人と人とのつながりを大切に



**「教育をめぐる現状と課題」**

- ◇少子高齢社会の進行  
(生産年齢人口の減少、社会全体の活力の低下、社会保障費の増大、税収の減少、核家族化・・・)
- ◇グローバル化の進展  
(知識基盤社会の本格化、生産拠点の海外移転、人・物・情報などの国境を越えた流動化、情報通信技術 (ICT) に一定程度習熟する必要性、生涯にわたって継続的に新たな知識・技能を身に付けていく必要・・・)
- ◇人間関係の希薄化  
(世代差や性差などの違いを超えてそれぞれのもつ特性を生かす必要性、「社会が人を育み、人が社会をつくる」という好循環をもたらすシステムをつくる必要性・・・)
- ◇雇用環境の変化  
(雇用習慣の変化、非正規雇用の割合の増加、就職ミスマッチといわれる現象、経済的な格差・・・)
- ◇安全・安心意識の高まり  
(安全・安心を守るための具体的な行動についての啓発活動や教育の必要性・・・)

人と人とのつながりの希薄化

「絆」の大切さ・必要性  
人の絆、地域の絆・・・  
(ともに学び、支え合う社会を創る)

ソーシャル・キャピタルの課題

**「絆」を生み出す社会教育の機能**

- 人づくり (学びを通じた人づくり個人の自立)
- 絆づくり (協働し、ともに創造する)
- 地域づくり (よりよい地域社会の構築)

**絆づくりに資する県内社会教育活動の事例**

- 地域間・分野間・世代間のつながり
- 組織内の人と人とのつながり
- 他の組織との連携 行政との連携
- 「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」の展望

互酬性規範  
ソーシャル・キャピタルの向上  
ネットワーク  
信頼



山梨には  
山梨の!

～絆づくりと活力あるコミュニティ形成に向けた社会教育行政のあり方～

- 学びを通じた個人の自立 = 「人づくり」を支える役割
- 個人や組織が協働し結びつく = 「絆づくり」を支える役割
- よりよい地域社会の構築 = 「地域づくり」を支える役割
- 「支援」と「自立」に対する適切なバランス感覚

コーディネーターの育成  
適切な距離感・平衡感覚  
人づくり  
地域づくり  
学びの場づくり  
新しい協働の形の提案  
絆づくり  
活力あるコミュニティ